

# 入学準備やっておきたいリスト 30

## 4月 年長さんの始まり



年長さんの始まり=小学校入学まで残り1年。長いようであるという間の1年を、いかに充実させられるか、それは出だしにかかっています。

### 1 園の年間行事をチェック

年間のイベントはお子さまをお兄さん・お姉さんとして自立へ近づけられるチャンス。進級時のやる気をなるべく持続させられるよう、計画的な声かけをしてあげましょう。

### 2 1年生のお子さまをもつ先輩保護者に、気になることをひととおり聞いておく

1年後や数ヵ月後だと忘れてしまうことも。4月の入学直後だから聞けることを聞いておくとう効果的。例えば下校時間など、園との違いについて聞いてみてください。

## 6月 基本的な生活習慣の定着



年長さんにも慣れてくるこの時期に、できていないことにトライし始めましょう。できるようになったあかつきには、しっかりとほめてあげることも忘れずに。

### 5 「鉛筆の持ち方」「自分で着替える」など、一朝一夕では身につかないことを練習する

例えば、立って着替える練習や着ていた服をたたむ練習などを、普通の遊びの中に取り入れてやってみてください。

### 6 梅雨の時期だからこそできる準備をする

梅雨の時期を生かして、通学路の小学生をチェック!レインコートが多いのか、雨傘を使っている子が多いのか、レインコートはランドセルまでかかるものを使っている子が多いのかなどをチェックしてみるといいでしょう。

## 8月 園生活最後の夏休みを充実させる



暑さに気をつけて、園最後の夏休みを楽しみつつ、夏休み明けからの入学準備も少し意識し始めましょう。

### 10 園生活最後の思い出づくり

帰省や旅行、ちょっとしたアトラクションなど、園生活最後の夏休みを目一杯楽しませてあげてください。

### 11 ランドセルについて考え始める

親世代と違って、ランドセルの色、柄などの選択肢が増えていきます。また、オーダーが流行っていたり、などランドセル事情はかなり変化しています。早めの情報収集がオススメです。

## 5月 生活リズムを崩さない



進級後の緊張からの解放感や連休が重なり、だらけやすくなる時期。せっかく身についてきた生活習慣が元に戻らないよう、やる気を引き出す工夫を意識していきましょう。

### 3 気分が高まるひと言をもらおう

連休で実家に帰省する機会や、電話をする機会など、親戚のかたと触れ合うタイミングを有効活用しましょう。

### 4 年長さんとしての気分を高める声かけをする

遠足や運動会などのイベントがある場合、そのイベントをうまく利用して、保護者のかたからも声をかけて気分を高めてあげてください。

## 7月 夏休みの計画立て



今年は「園最後」という特別な夏。特にお仕事があるかたにとつては一緒に過ごせる期間が短くなってしまっても、充実した過ごし方ができる作戦を考えておけるとよいですね。

### 7 計画的な夏休みを送る

時期が近づいてくると、親子で体験できるイベント開催情報などもたくさん出てきます。ぜひインターネットなどで情報収集してみてください。

### 8 お泊り保育の準備

園生活の大イベント、お泊り保育の準備をぬかりなく。良い思い出とお子さまの自信につながるよう、気持ちも盛り上げてあげましょう。

### 9 来年お子さまを預かってもらう予定の人はチェック

来年の夏、地域の学童やサマースクールにお子さまを預かってもらう予定のある人は、申し込み時期や時間、料金など、今のうちに調べておくとう安心です。

## 9月 ランドセルの準備を始める



本格的な入学準備はランドセル選びから。お子さまの希望を聞いてみたりしながら、どうしても欲しいものがある場合は早めの購入決断を!

### 12 ランドセルの選び方を知る

色・予算・素材など、どのポイントから決めていくかイメージをわかせるよう。先輩保護者のかたから「何を重視したか」について聞いてみるのもいいですね。

### 13 ランドセル売り場に行ってみる

お子さまと一緒に、実際の売り場で色々なタイプのものを見てみましょう。「お子さまが無理なく背負えるもの」を早めに見つけることが大切です。

### 14 早寝・早起きを基本とした生活リズムをつくる

早寝・早起き、持ち物を自分で用意する、など小学校入学後の生活に必要な習慣をそろそろ意識し始めたい時期。「〇分までに用意する」など、ゴールを明確に設定してあげたりするのもオススメです。

# 入学準備やっておきたいリスト 30

## 10月 就学時健診で通学予定校をチェック



この時期の開催が多い就学時健診。通学校を見学できる貴重な機会を生かして、入学後の生活を少しずつイメージしておきましょう。

### 15 就学時健診について知る

健診だけでなく、学校によっては簡単な面接や学校案内などがあるようです。事前に内容を調べておきましょう。

### 16 就学時健診での持ち物をチェック

持っていけるといいものはこちら。

- ・ハンカチ  
お手洗いにいく際に、場所や和式 / 洋式を確認できるとよいですね。
- ・携帯スリッパ  
来客用のスリッパがなかったときに慌てないように。
- ・小さなカード  
名刺からお礼状まで、小さなカードを持っていけると便利。
- ・大きなカバン  
少し大きめのカバンがあれば、学校からもらう資料もスッキリしまえます。

## 12月 生活習慣の修正は年内のうちに

年が明けるとイベントも作業も多く、保護者のかたもなかなか時間に余裕がない時期が続きます。気になることは年内に!の意識で過ごされることをオススメします。

### 19 小学校の登校時間に合わせて起床する

園に通っているから大丈夫!はまちがいのもと。小学校に登校する時間は園時代より1時間早かった!なんて声も。冬の寒い時期に早起きするのは大変ですが、少しずつ準備を。

### 20 ご飯を食べる時間を決める



20分で食べよう!など、時間を区切って練習を。ご飯を食べる量や時間はどうしても個人差があるので、朝ごはんだけでも、と決めて目標設定してみてください。少しずつ、4月からの給食に備えましょう。

### 21 卒園・謝恩会の準備もぬかりなく

会場や出し物、プレゼントの準備などが年明けから大詰めに。ストレスなく、スムーズに進むよう、役員のかたは分担をしっかりと確認しておけるとよいですね。

## 2月 小学校説明会以降、グッズの準備を本格的に

グッズの準備内容が具体的に説明会で判明するので、名前つけなど手のかかるものは計画的に始めておきましょう。

### 25 小学校説明会の内容をメモ

グッズの指定など、事前準備が必須かつ入学後の生活に直結する内容が多いので、メモは入念に。説明会で一緒になった他の保護者のかたとの情報交換もしておけるとよいです。

### 26 手作り物の準備をスタート



学校ごとに「キャラクターはNG」「上履きのひもの長さは●cm」など細かい規定があるので、忘れないうちに、説明会后すぐに始めるのがおすすめです。

### 27 おさがりできる物がないか、慎重に判断

例えば算数セットなどで新品同様のキレイさだから上の子の物が使える!といった場合には、おさがりにすると、やる気ダウンにつながるの、お金や手間をかける物と、そうでないもの見極めが大切です。

## 11月 入学後の学習を意識



小学校の授業は1コマ45分。文字の読み書きや数だけでなく、「机に向かって一定時間じっとしている」訓練も始めておきたいところです。

### 17 4月からの勉強スペースについて親子で相談

自学自習習慣の定着に関係するのが、机やイスなどの勉強スペース。「どんなところで勉強したいか」についてお子さまと話し合うことでお子さまのやる気が断然UPします。

### 18 アナログ時計の読み方の練習を開始

4月以降は授業の開始と終わりや休み時間中の着替えなど、時間を意識しなければいけないシーンがたくさん増えてきます。学校生活が時間で把握できるように、このタイミングでアナログ時計の読み方になれておきましょう。

## 1月 「もうすぐ1年生だね」とやる気を盛り上げる

いよいよあと3カ月で入学です。お友達と離れてしまうことなど、卒園を不安に思うお子さまもいるので、入学が楽しみに思えるようにポジティブな声かけを心がけてください。

### 22 お昼寝を徐々になくす



保育園でお昼寝をなくす練習が始まるのもこの時期。徐々に小学校生活の時間の流れに体力を合わせていけるようにしましょう。

### 23 入学説明会の日時を確認

2月に実施されることが多い入学説明会の通知が届いたら、日時や必要な持ち物などを事前に確認しておきましょう。

### 24 卒園・入学式の服装を考え始める

お子さまもちろんですが、実は多いのが保護者のかたの服装についての悩み。卒園式は黒などが多く、入学式は華やかに・・・という傾向なようです。周りのかたに聞いてみるなどして、スーツにするのか和装か、など早めにイメージしておきましょう。

## 3月 入学準備のラストスパート



イベントで忙しい時期なので、スキマ時間を有効活用して残っているグッズの準備を進めましょう。

### 28 思い出に残る卒園に

園生活の最後。写真などの形に残るものもよいですが、入学後のさらなる成長につながるよう、お子さまへのお祝いの声かけもしてあげてください。

### 29 持ち物の名前つけ

文具など、数が多いものにも名前つけが必要なことがあります。時間がかかる作業は早めに済ませておけると後がスムーズです。

### 30 親子で実際に通学路を歩いてみる

小学生になると一人で通学路を歩くことになります。入学を迎える前に実際の通学路を親子で歩いてみましょう。車の多い道路、人通りの少ない細い路地など、どこに危険が潜んでいるか、どこで注意したらよいのかお子さまに声をかけながら一緒に歩いてみてください。